

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月24日更新

事務事業名		市民センター維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	岐部則夫
	施策	21	生涯学習の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	武田直子
	施策の柱	69	生涯学習施設(環境)の整備				所属班	生涯学習班	(内線)	2523
予算科目		会計一般	款10	項5	目3	事業連番10827	根拠法令	合志市民センター条例 成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ①		
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	施設利用者が各市民センター（御代志・黒石・須屋・泉ヶ丘）及び野々島公民館を快適に利用できるように維持管理を行う。 施設の多くは、経年劣化が進んでいる。ついては、中長期計画に基づき改修を行う必要がある。 また、黒石市民センター、野々島公民館においては築40年を経過し、建物全体の腐食が激しく耐震対策も必要であるため、計画に基づき建替えを検討していく。 更には、維持管理・運営について指定管理制度等も検討していく。
【業務の流れ】	①消耗品補給、蛍光灯・電灯交換、ホワイトボードマーカー等消耗品補充 ②保守管理（コピー機、自家発電、消防用設備、貯水槽、空調、券売機、清掃業務等） ③施設の修繕・工事 ④避難所用品の備蓄 ⑤管理人の配置
【主な予算費目】	報酬、需用費（消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費）、役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費
【意見や要望】	市民が快適に利用できるよう、老朽化施設については早急な改修及び建替えが求められている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO) 空調機械保守点検業務委託、清掃管理業務委託、施設予約端末保守業務委託、券売機保守業務委託、自家発電設備保守点検委託、電気工作物保守点検業務委託、建築設備定期検査業務委託、特殊建築物検査業務委託、昇降機保守点検業務、自動ドア保守点検業務委託、貯水槽保守点検業務委託、機械警備業務委託、来客用マトリクス、シュレッダーリース、券売機リース、消防用設備修繕、照明盤改修工事(第3期)、冷水機設置工事、御代志市民センター講堂舞台幕修繕		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 空調機械保守点検業務委託、清掃管理業務委託、施設予約端末保守業務委託、自家発電設備保守点検委託、電気工作物保守点検業務委託、建築設備定期検査業務委託、自動ドア保守点検業務委託、貯水槽保守点検業務委託、機械警備業務委託、昇降機保守点検業務委託、来客用マトリクス、シュレッダーリース、券売機リース、各施設修繕、須屋市民センター防球ネット増設
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア: 市民センター維持管理事業にかかる経費	円	平成27年度より泉ヶ丘市民センター維持管理を統合したことによる事業費の増額
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
→イ: 市民、市外からの通勤・通学者		→ア: 利用者 (単位) 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
→イ: 活動の場がある		→ア: 学習に親しむ施設が整っているという市民の割合 %
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
施設管理上の不具合が少なければ、それだけ環境が整備された施設を提供できたことになるから		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア	円	31,202,359	39,223,176	60,000,000	39,245,077	60,000,000	60,000,000	60,000,000	60,000,000
② 対象指標	ア	人	2,551	5,836.88	7,331.88	583,688	7,331.88	7,331.88	7,331.88	733,188
③ 成果指標	ア	%	57	57	60	57	60.5	61	61.5	62
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	6,035	6,682	8,036	8,167	7,598		
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	25,167	44,567	50,528	39,441	63,609	50,000	50,000
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	31,202	51,249	58,564	47,608	71,207	50,000	50,000
		(A)のうち指定経費	千円	2,836	9,418	10,076	10,403	12,686	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	3	3	1	3	3	3
人 件 費	延べ業務時間	時間	840	2,050	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		(B) 人件費計	千円	3,346	8,167	4,382	4,084	4,382	4,382	4,382
	トータルコスト(A)+(B)		千円	34,548	59,416	62,946	51,692	75,589	54,382	54,382

事務事業名	市民センター維持管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度的事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 例年に比べ大きな不具合等は少なかったが、施設の劣化に伴い今後様々な不具合が予想される。
	②28年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☒ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 経年劣化により躯体が古くなり施設上の不測のトラブルが起きやすい状態だから
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 外装のクラックなどが目立ってきていて、屋上の防水シートも塗料が剥げガラス繊維が露出している。この状態が更に進むとコンクリートに水分が浸透し、中の鉄筋を腐食させるおそれがあるので、大規模な外装改修工事が必要である。黒石・野々島については建物全体の劣化が激しく、耐震強度もないため建て替えが必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似施設は他にもあるため、一括した管理を行うことができる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 物件費の内訳は、施設管理委託料や各公共料金、修繕費であり、光熱水費に関しては、利用者の協力により儉約に努めている。必要最小限の計上をしているので、これ以上の削減は難しいと思われる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 夜間、土日・祝日は管理人を配置して必要最小限の管理を行っており、その報酬を低く抑えているため、削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 施設利用の市民には、受益者負担の原則に従い、施設の維持管理の一端を担っていただくため、施設利用料及び冷暖房使用料の負担をいただいております。利用者による適正な施設の維持管理に貢献している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 御代志市民センターは市有施設なので住民への移行はできない。

3 評価結果の総括（CHECK）

屋上防水シートが劣化しているので改修の必要がある。講堂ステージ入口のスロープが急すぎるので改修の必要がある。建設当初に導入した設備をそのまま使用しており、故障した場合、製造が終了しているものが多く修繕ができない場合があるので設備更新を行う必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							